

2016年6月3日

## マレーシア ペトロナスLNG9社への資本参画について

当社(社長:杉森 務)は、マレーシア国営石油会社 PETROLIAM NASIONAL BERHAD(以下「ペトロナス」)の子会社 PETRONAS LNG 9 SDN. BHD.(以下「ペトロナスLNG9社」)の発行済み株式10%を取得する株式売買契約を締結し、6月2日に調印式を行いましたのでお知らせいたします。

また、ペトロナスの100%子会社 PETRONAS LNG LIMITED(以下「PLL社」)とLNG販売における販売支援を行う契約も締結しました。当社は、ペトロナスLNG9社が生産する年間360万トンのLNG販売の一翼を担うべく、国内外の新規顧客獲得にPLL社と共に取り組んでまいります。また、これを足掛かりに、アジアにおける当社ガス事業を推進してまいります。

ペトロナスLNG9社への資本参画は、マレーシアにおいてマレーシアLNGティガプロジェクト※に次ぐ、LNGプロジェクトとなります。当社は、ペトロナスとの戦略的パートナーシップを通じて、今後もマレーシアのLNG事業の拡大に貢献すると共に、日本をはじめアジア諸国のエネルギーの安定供給に努めてまいります。

### 【当社社長(杉森 務)のコメント】

ペトロナスが当社をパートナーとして選んでくれたことを光栄に思う。ペトロナスの良きパートナーとなってLNG事業の発展のために取り組んでいく。

当社は、総合エネルギー企業として今後もエネルギーの安定供給に挑戦していく。

### 【ペトロナス社長兼グループCEO(ダトー・ワン・ズルキフリー・ワン・アリフィン)のコメント】

今般のJXエネルギーの資本参画は、良きパートナーと共にLNG事業を発展させていくという、当社の事業方針に沿ったものである。JXエネルギーは、これまでマレーシアLNGティガ社の発展において中心的役割を担ってきており、ペトロナスLNG9社に対しても同様の貢献をお願いしたい。



#### 調印式の様子

当社 杉森社長(中央左)、原常務(左端)  
ペトロナス ダトー・ワン・ズルキフリー社長(中央右)、ダトー・アヌア上級副社長(右端)

## <各社概要>

### (1) ペトロナス(PETROLIAM NASIONAL BERHAD)

代表者 : Datuk Wan Zulkiflee Wan Ariffin  
(ダトー・ワン・ズルキフリー・ワン・アリフィン)

資本構成 : マレーシア政府 100%

本社所在地 : マレーシア クアラルンプール

事業内容 : (1) マレーシア国内の石油資源の所有および管理  
(2) マレーシア国内外における探鉱・生産事業、石油精製・販売事業、  
ガス事業、LNG生産・販売事業、石油化学事業、トレーディング事業、  
船舶事業、不動産事業

### (2) ペトロナスLNG9社(PETRONAS LNG 9 SDN.BHD.)

資本構成 : ペトロナス 90%、当社 10%

液化基地所在地 : マレーシア サラワク州 ビンツル

液化設備能力 : 360万トン/年(1系列)

商業生産開始予定 : 2017年第1四半期

事業内容 : LNG生産(ペトロナスから供給される天然ガスを液化)

### (3) PLL社(PETRONAS LNG LIMITED)

資本構成 : ペトロナス 100%

事業内容 : LNG販売(ペトロナスLNG9社から購入したLNGの販売他)

### ※マレーシアLNGティガプロジェクトについて

事業者名 : マレーシアLNGティガ社(MALAYSIA LNG TIGA SDN.BHD.)

資本構成 : ペトロナス 60%、シェル 15%、当社 10%、サラワク州 10%  
ダイヤモンドガス 5%

液化基地所在地 : マレーシア サラワク州 ビンツル

液化設備能力 : 760万トン/年(2系列)

生産開始 : 2003年3月

事業内容 : LNG生産(ペトロナスから供給される天然ガスを液化)

以上